

報道関係者 各位

令和 5 年 5 月 3 1 日

【照会先】

徳島労働局職業安定部職業対策課

課 長 佐藤 正

課長補佐 武市 直子

地方障害者雇用担当官 堤 智恵

電話 (088) 611-5387

令和 4 年度ハローワークを通じた障害者の職業紹介状況等 ～障害者の就職件数が、コロナ禍以前の水準に向けさらに改善～

徳島労働局(局長 竹中 郁子)は、令和4年度の障害者の職業紹介状況をまとめましたので、公表します。
ハローワークを通じた障害者の就職件数は656件で、対前年度比1.1%の増となりました。

ポイント

○就職件数は、身体障害者と精神障害者において前年度を上回っている。

	新規求職 申込件数※2 対前年度 (対前年度比)		就職件数※3 対前年度 (対前年度比)	
身体障害者	282件	12件減 (4.1%減)	139件	25件増 (21.9%増)
知的障害者	245件	14件減 (5.4%減)	177件	20件減 (10.2%減)
精神障害者	522件	25件増 (5.0%増)	297件	30件増 (11.2%増)
その他の障害者※1	95件	29件減 (23.4%減)	43件	28件減 (39.4%減)
合計	1,144件	30件減 (2.6%減)	656件	7件増 (1.1%増)

※1「その他の障害者」とは、身体障害者・知的障害者・精神障害者以外の障害者をいい、具体的には、障害者手帳を所持しない、発達障害者、難病疾患、高次脳機能障害者など。対前年度差(比)減は、ハローワークシステム刷新の影響により、令和3年度において障害者手帳所持者が一部計上されていた影響が大きい。

※2「新規求職申込件数」には、令和3年9月より開始されたハローワークインターネットサービスにより新規求職申込を行った者(同月中に来所した者を除く)の件数(オンライン新規求職申込件数)16件は計上していない。

※3「就職件数」には、ハローワークインターネットサービスのオンライン自主応募(ハローワークの職業紹介を経ずに直接応募できる機能)を利用したことによる就職件数は計上していない。

○新規求職申込件数は1,144件で、前年度比30件減(2.6%減)となった。また、就職件数は656件で、前年度比7件増(1.1%増)となった。

○産業別にみると、「医療・福祉」(299件)、「製造業」(85件)、「卸売・小売業」(57件)の順に就職件数が多かった。

○職業別にみると、「運搬・清掃」(255件)、「事務職」(122件)、「サービス業」(73件)の順に就職件数が多かった。

○就職件数656件のうち、就労継続支援A型事業所への就職件数は180件であった。

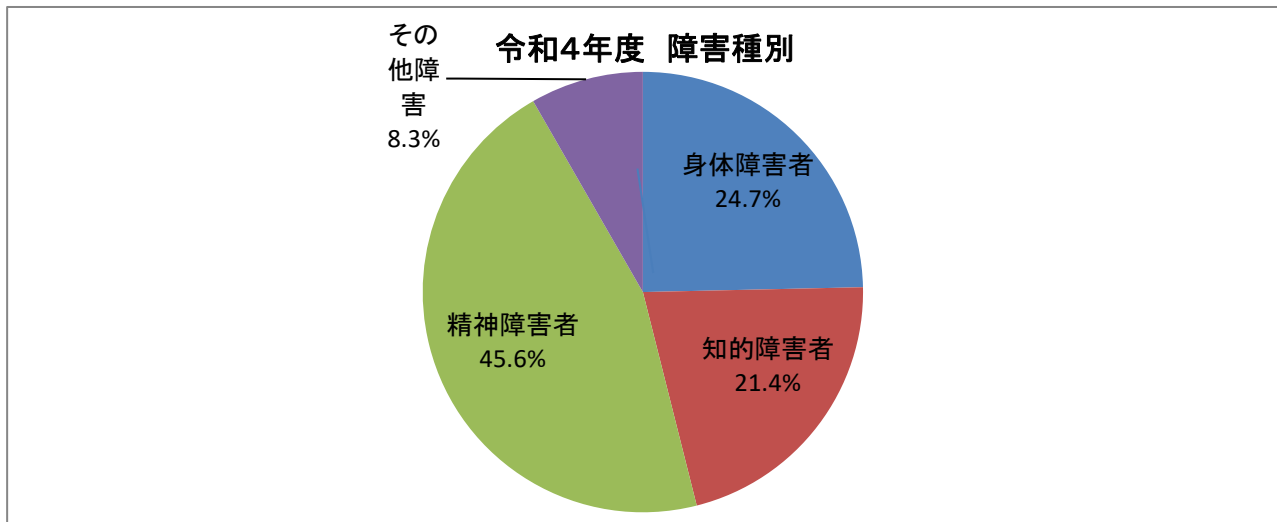
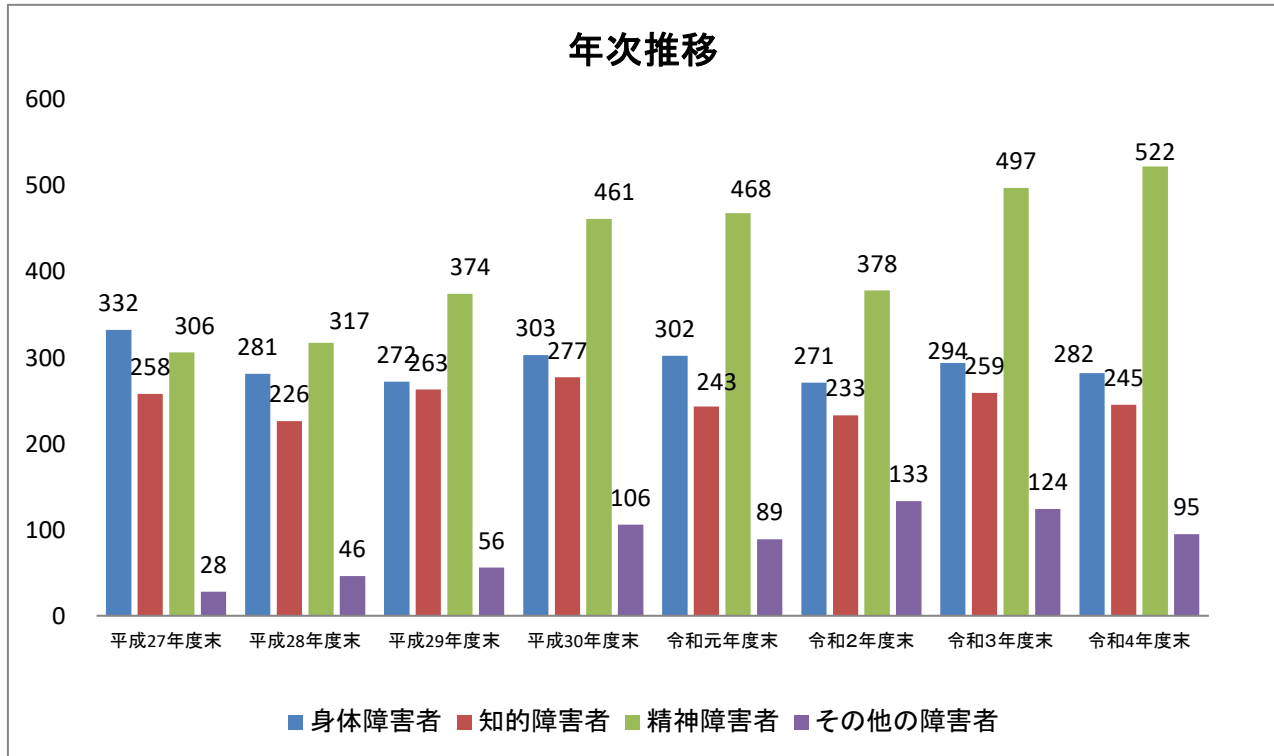
○障害者の雇用の促進等に関する法律(昭和35年法律第123号)第81条第1項の規定により、ハローワークに届出のあった障害者の解雇者数は、13人であった。

ハローワークにおける障害者の職業紹介状況(令和4年度)

1 新規求職申込件数

	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末
身体障害者	332	281	272	303	302	271	294	282
知的障害者	258	226	263	277	243	233	259	245
精神障害者	306	317	374	461	468	378	497	522
その他の障害者	28	46	56	106	89	133	124	95
計	924	870	965	1,147	1,102	1,015	1,174	1,144

(注)「その他の障害者」とは、発達障害者、高次脳機能障害者、難病者等である。



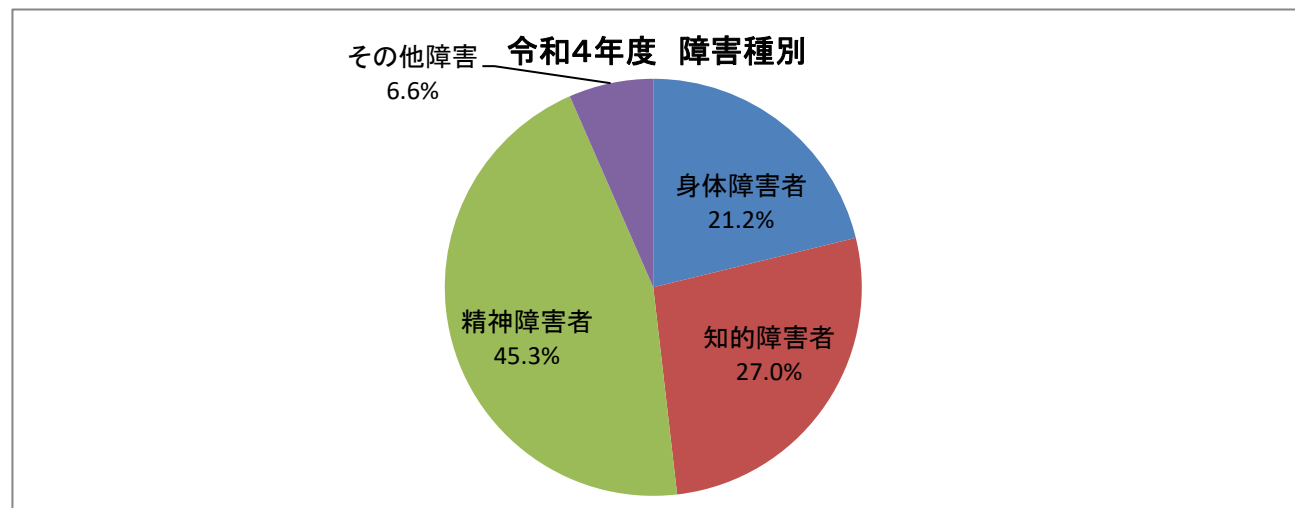
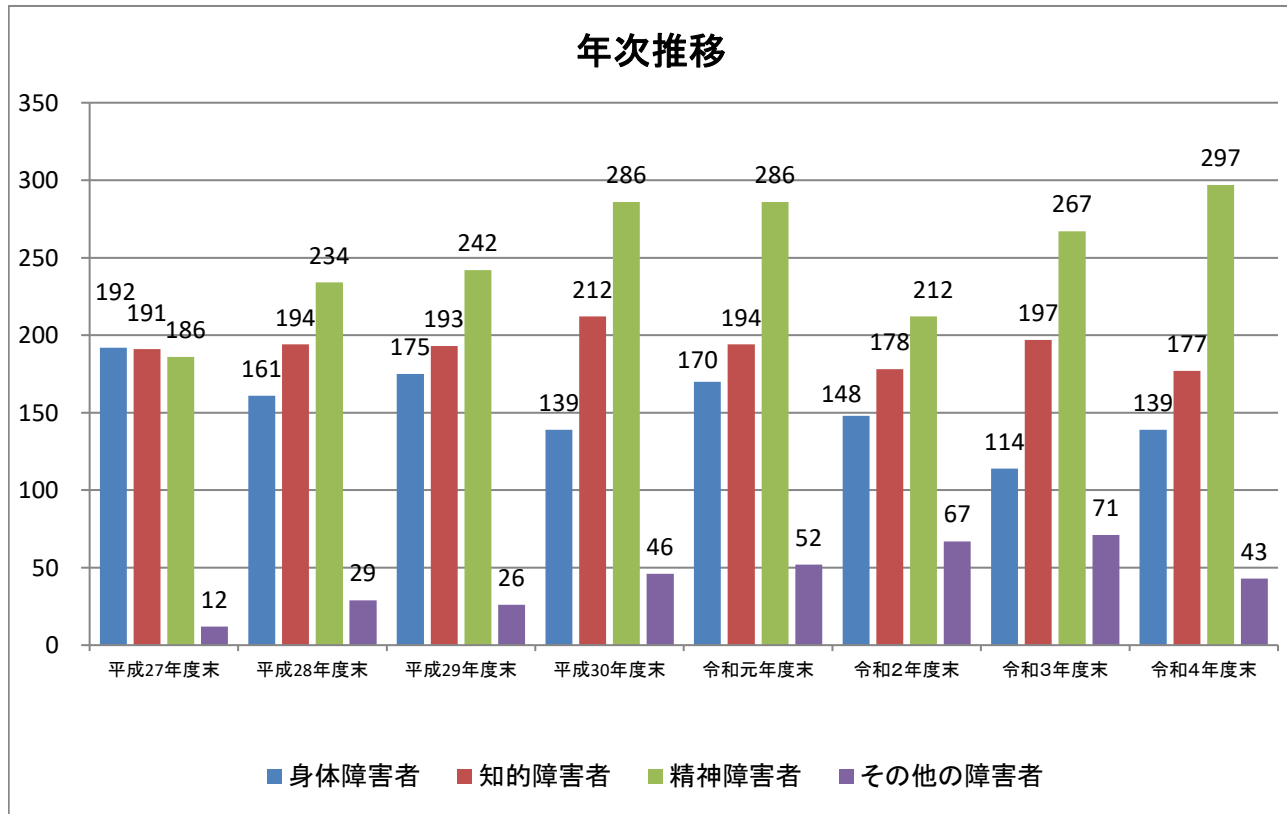
<新規求職申込件数の特徴>

新規求職申込件数は1,144件で、前年度より30件(2.6%)減少した。身体障害者は282件(4.1%減)、知的障害者は245件(5.4%減)、精神障害者は522件(5.0%増)、その他の障害者は95件(23.4%減)となった。

2 就職件数

	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末
身体障害者	192	161	175	139	170	148	114	139
知的障害者	191	194	193	212	194	178	197	177
精神障害者	186	234	242	286	286	212	267	297
その他の障害者	12	29	26	46	52	67	71	43
計	581	618	636	683	702	605	649	656

(注)「その他の障害者」とは、発達障害者、高次脳機能障害者、難病者等である。

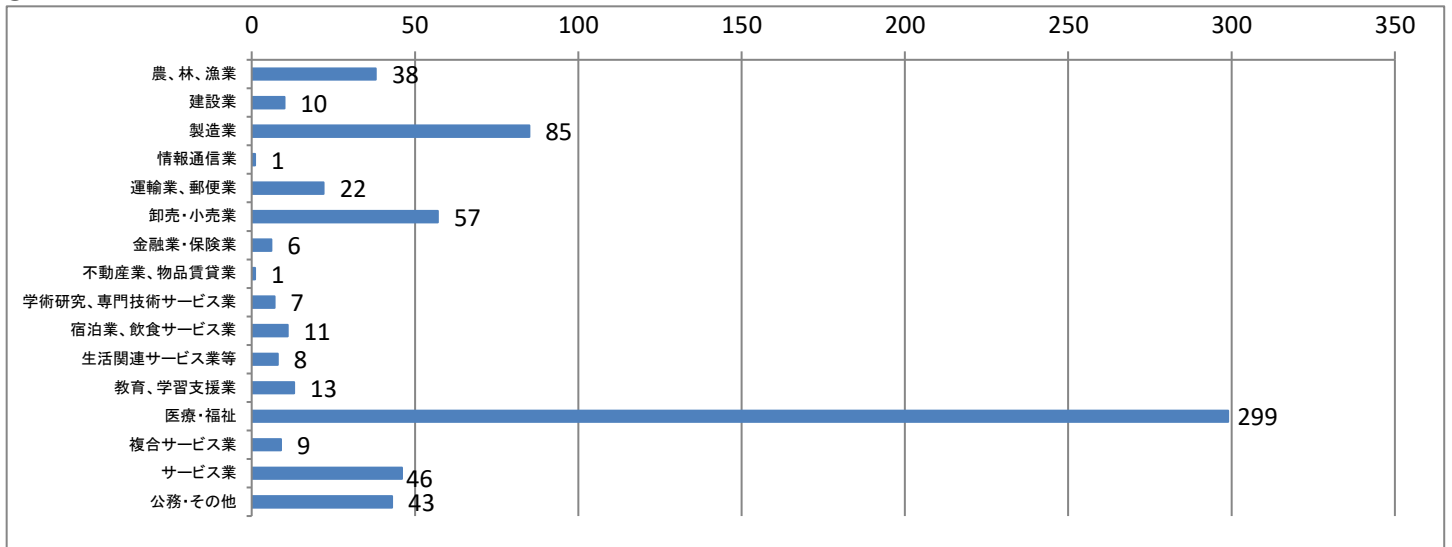


<就職件数の特徴>

就職件数は656件で、前年度より7件(1.1%)増加した。障害種別による内訳は、身体障害者が139件(21.9%増)、知的障害者が177件(10.2%減)、精神障害者が297件(11.2%増)、その他の障害者が43件(39.4%減)となった。

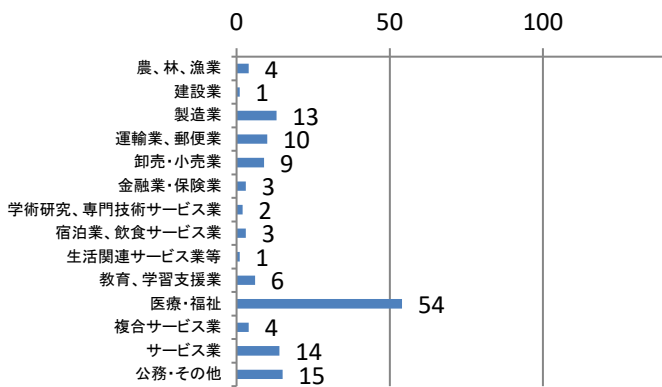
(1) 産業別の就職状況

① 概況

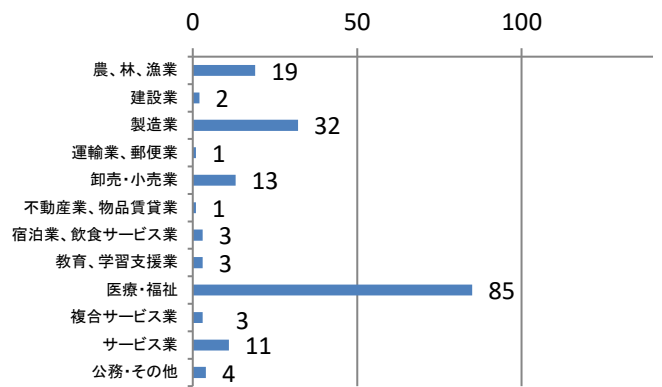


② 障害種別の状況

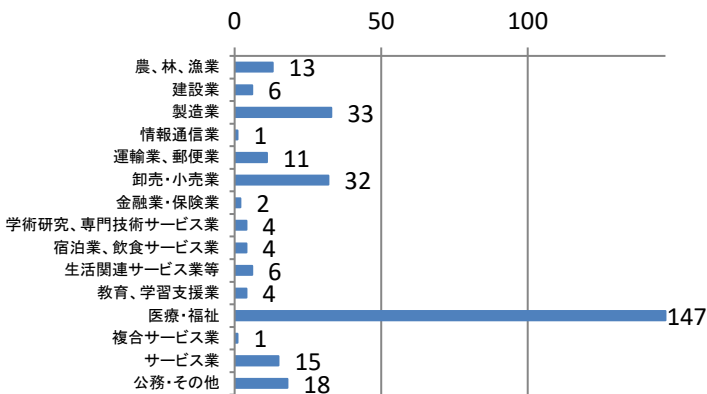
身体



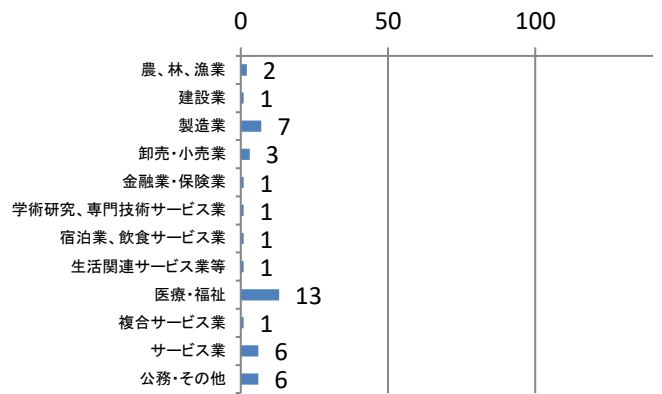
知的



精神



その他



< 産業別にみたときの特徴 >

○ 産業別の就職件数は、多い順に次のとおりである。

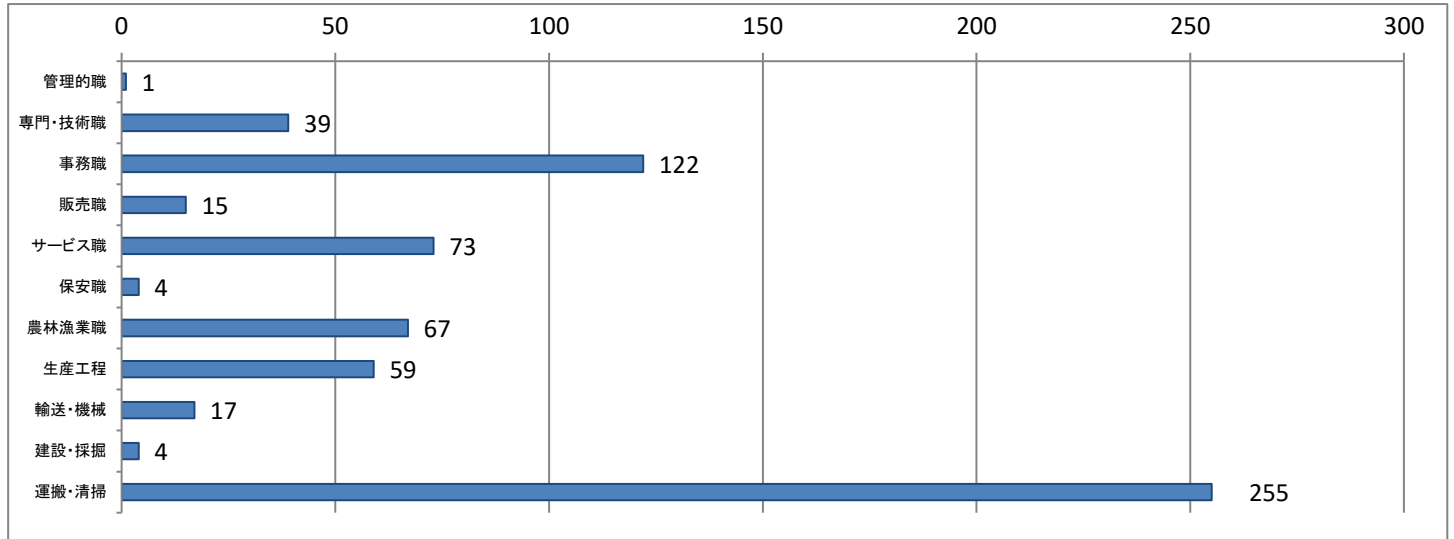
「医療・福祉」(就職件数299件、構成比45.6%、対前年度比+7.1%。以下同順。)

「製造業」(85件、13.0%、+0.7%)

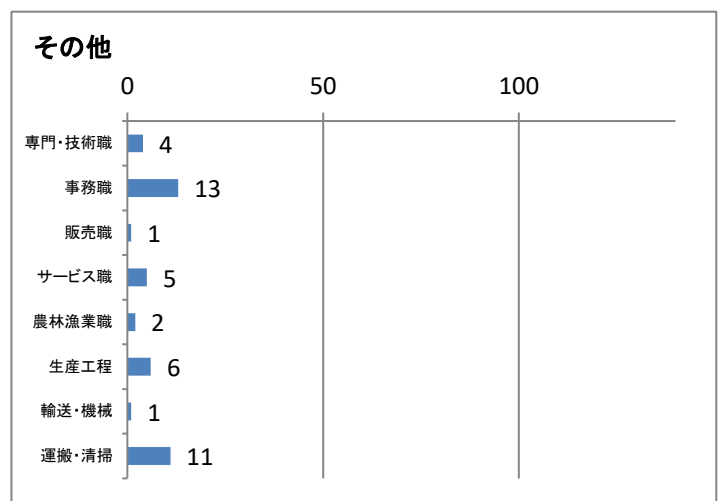
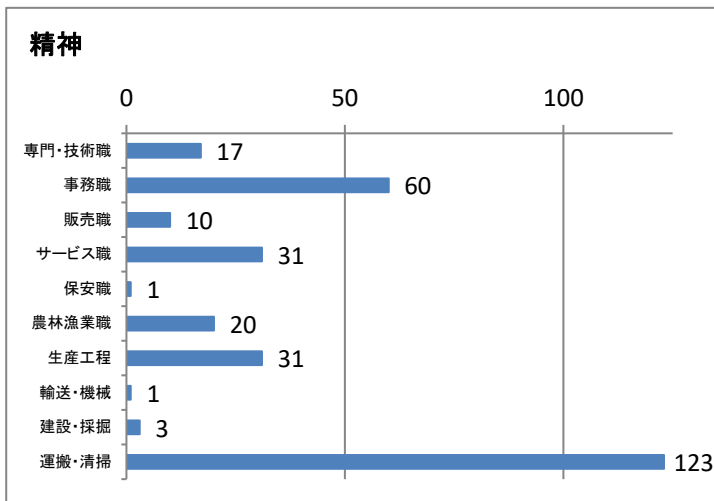
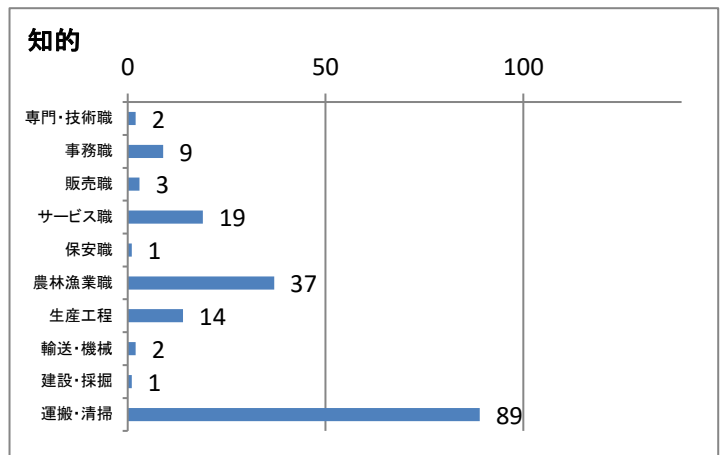
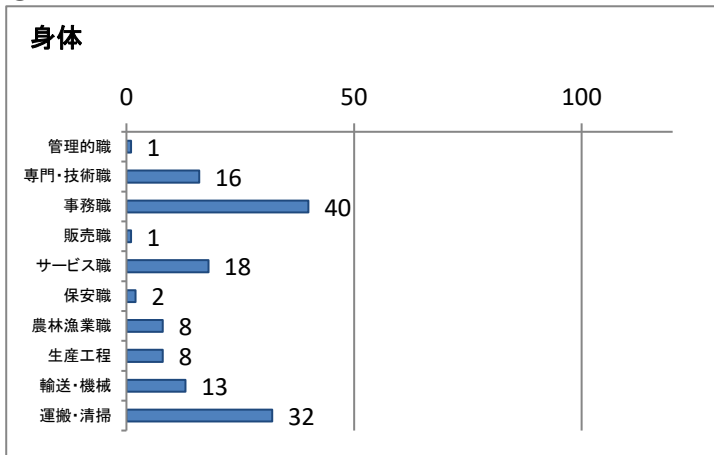
「卸売・小売業」(57件、8.7%、+1.0%)

(2)職業別の就職状況

①概況



②障害種別の状況



<職業別にみたときの特徴>

○職業別の就職件数は、多い順に次のとおりである。

「運搬・清掃」(就職件数255件、構成比38.9%、対前年度比+3.9%。以下同順。)

「事務職」(就職件数122件、18.6%、-1.6%)

「サービス業」(73件、11.1%、-0.5%)